

今日の道徳の授業について

平成28年11月12日(土) 第2校時
渋谷区立西原小学校
第6学年1組 担任 池本 純太郎

◇今日の主題 D-(18)生命の尊さ

◇今日の資料 その思いを受け継いで

◇今日のねらい生命は、かけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。

◇主題について

高学年になると、生命の誕生から死に至るまでの過程を理解することができる。また一人ひとりの生命は、様々な人と支え合う中ではぐくまれ、さらに生命は祖先から自分へそして子孫へと受け継がれていくことも理解できるようになる。その中で生命はかけがえのないものだとは自覚できるようにすることが重要になってくる。そこで、人間の誕生の喜びや死の重さ、生きていく事の尊さ、さらには共に生きることのすばらしさを体験や社会の出来事と向かい合う中で深く考えられるように工夫することが必要である。

◇今日の学習の流れ

導入	<ul style="list-style-type: none">○「生きているっていいな」と思ったことを考える。・好きなことができるとき。・人の優しさを感じたとき。・何かができるようになったとき。
展開	<ul style="list-style-type: none">○「その思いを受け継いで」を読んで話し合う。①じいちゃんの命があと3カ月だと聞いた「ぼく」はどんな気持ちだったのでしょうか。<ul style="list-style-type: none">・そんなこと信じられない。・大好きなじいちゃんがいなくなるのは、さみしい。②「ぼく」はじいちゃんの病院にどんなことを考えながら、毎日通いつけていたのでしょうか。<ul style="list-style-type: none">・残りの時間を大切にしたい。・最後になるかもしれないから、一日でも一緒にいたい。・精一杯のことをしてあげたい。・死なないで。③誕生祝いののし袋に書かれた字を見て、「ぼく」はどんな気持ちになったのでしょうか。<ul style="list-style-type: none">・ぼくのことを一生懸命考えてくれていたんだ。・じいちゃんのおかげで、ここまで大きくなれたよ。ありがとう。・ぼくは、これからも元気に生きていくよ。
終末	<ul style="list-style-type: none">○教師の説話を聞く。○今日勉強して、命についてどんなことを考えましたか。<ul style="list-style-type: none">・自分の命は、大切しなければならない。・自分の命は、一人だけのものではなく、周りのみんなに支えられているのだと思った。・自分も周りの人も大切にしなければならない。

今日の道徳の授業について

平成28年11月12日（土）第2校時
 渋谷区立西原小学校
 第6学年2組 担任 上林 景一

- ◇今日の主題 D 生命の尊さ
- ◇今日の資料 「人とつながる～命の大切さを伝えて」（NHK道徳ドキュメントより）
- ◇今日のねらい 大切な家族を事故で失った人の生き方を通して、生きていることの素晴らしさを自覚し、
 今ある命を大切にしていこうとする気持ちを養う。

◇主題について

悲しみは突然訪れることがある。将来を嘱望されながらも、若くしてその望みを絶たれる人もいる。しかし、絶望のどん底にいても、そこから希望を見だし、這い上がる強さをもつ人もいる。本学習では、愛する息子を失った母親がその悲しみを乗り越えて立派に生きていく姿を通して、生きがいをもって生きることの素晴らしさを実感できるようにしたいと考える。また、健康に過ごしていることへの感謝の気持ちももてるようにしたい。

◇今日の学習の流れ

	学 習 活 動（主な発問例と児童の予想される反応等）	指導上の留意点
導 入	1. 生きる喜びについて考える。 ○「生きているってすばらしい」と思うのは、どんなときでしょう。 ・やりたいことができるとき。 ・夢や目標をもってがんばれるとき。 ・家族や友達と楽しい時間を過ごせるとき。	* 最近の陸上記録会、理科の研究発表会、鼓笛パレードなどの行事から、達成感や成就感を思い起こさせる。
展 開	2. 大切な人が急に亡くなってしまったらどうなるか、考える。 ○大切な人が事故などで急にいなくなったら、どう思うと考えられますか。 ・ショックで、何も考えられない。 ・その人の分まで頑張ろうと思う。 3. VTR「命の大切さを伝えて」を視聴する。 ①自分を責めてしまう共子さん ②創作活動を始めた共子さん ③同じ境遇の人と出会った共子さん ④展覧会を始めた共子さん ⑤片岡さんの訪問を受ける共子さん ⑥早稲田大学で学び始めた共子さん ○共子さんが、この悲しみから学んだことはなんでしょうか。 ・亡くなった息子を何らかの形で生き続けさせること。 ・亡くなった息子の分まで挑戦していくこと。 ・同じ境遇の人たちと心をつなげていくこと。	* 難しい仮定だが、この後の資料提示につなげていく。 * 視聴する中で、「自分だったら…」という視点で考えさせる。 * 共子さんの成長、前向きな生き方について押さえる。 * 共子さんの積極的な活動によって、多くの人が救われたことにも着目させる。
終 末	4. この時間に学んだことを書き、発表する。 ・命を失うと、残された家族がいかにつらい思いをするかということ。 ・どんなに悲しい思いをしても、前向きに生きていくことが大切なこと。 ・生きていることは、やっぱり素晴らしいこと。 5. 教師の説話を聞く。	* 授業前と比べての心の変化を実感させる。

今日の道徳の授業について

平成28年11月12日(土) 第2校時
渋谷区立西原小学校
第6学年3組 担任 上村 彩

◇今日の主題 D-(18)生命の尊さ

◇今日の資料 「命を見つめて」

◇今日のねらい生命は、かけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。

◇主題について

高学年になると、「死」について理解はできている。しかし、生きていることが当たり前で、生きていることのすばらしさを意識しないで生活していることが多い。

本学習では、小児がんで、余命5年と宣告された猿渡瞳さんが、何度も手術しながらも生きる希望を失わずに病気と闘い、皆に生きるメッセージを送り続けた実話である。この資料を通して、自分の生き方を考え、前向きに生きていこうとする心情を育てたい。

◇今日の学習の流れ

導入	<ul style="list-style-type: none">○身近な「幸せ」について考え、発表する。・友達と遊んでいるとき。・家でゴロゴロしているとき。
展開	<ul style="list-style-type: none">○「命を見つめて」を読んで話し合う。1 お母さんから半年しか生きられないと知らされた時、瞳さんはどんな気持ちになったのだろう。・なんで私が。・信じられない。・これからどうすればいいのだろう。2 苦しい時も瞳さんが笑顔でいられたのは、どうしてだろう。・お母さんが支えてくれているから。・周りの人が笑顔になってほしいから。・もうしょうがない、前向きにとらえるしかないから。③ 体調が悪くても、毎晩作文を書き直し続けていた時、瞳さんはどんな気持ちだったのだろうか。・自分の思いを伝えたい。→亡くなった人の思いも伝えたいから。・今生きていることが素晴らしいと伝えたい。○ 弁論大会のビデオを視聴し、自分自身について振り返る。4 瞳さんの弁論大会を聞いて、あなたにとって、「生きること」とはどんなことか。・いろいろな人に支えられていること。・いろいろな人に感謝を伝えること。・一日一日を大切に生きること。
終末	<ul style="list-style-type: none">○教師の説話を聞く。